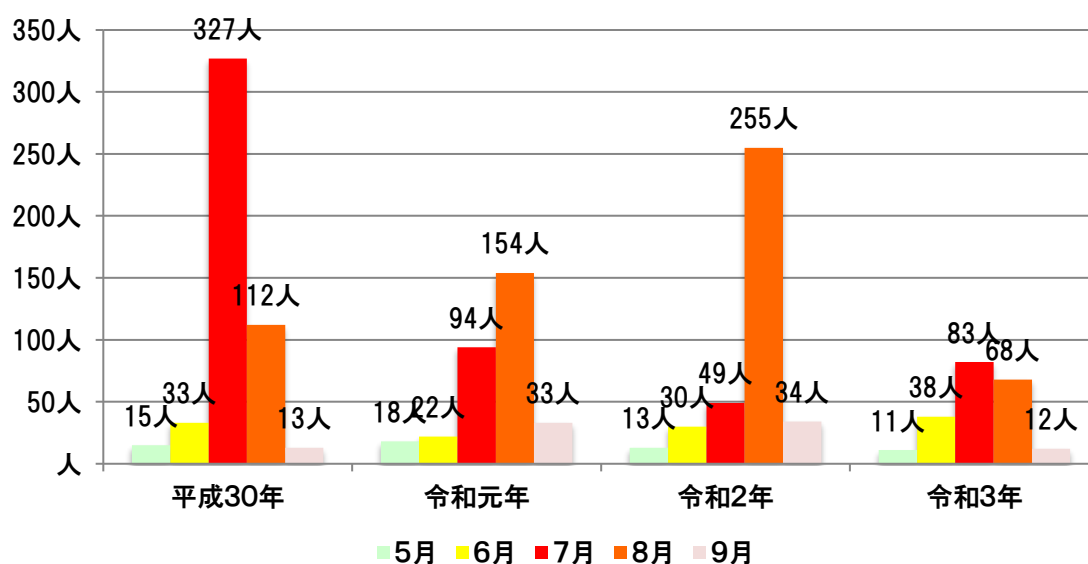


## 令和3年中の熱中症による救急搬送状況

枚方寝屋川消防組合の令和3年5月1日から9月30日までの熱中症（熱中症疑いを含む。）による救急搬送人員は212人（枚方市123人、寝屋川市89人）で、前年の同期間の搬送人員381人（枚方市225人、寝屋川156人）と比較して169人減少しました。

月別の熱中症による救急搬送人員（平成30年から令和3年まで）

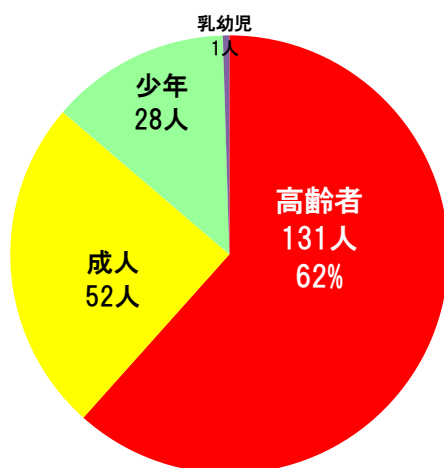
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
5月	15人	18人	13人	11人
6月	33人	22人	30人	38人
7月	327人	95人	49人	83人
8月	113人	155人	255人	68人
9月	13人	34人	34人	12人
合計	501人	324人	381人	212人



## 年代別

年代別では、高齢者（65歳以上）が131人で全体の救急搬送人員の約半数約60%）を占めています。

年齢区分別救急搬送状況（令和3年5月1日から9月30日）



## ポイント

- ①高齢者の方は温度に対する感覚が弱くなるため、自分で暑さやのどの渇きに気づきにくいというえ、体調の変化も我慢をしてしまうことがあります。周りの人が体調をこまめに気にかけて、予防対策を促してあげましょう。
- ②乳幼児は、体温調節機能が十分に発達していないため大人よりも熱中症にかかりやすいといわれていますので、より一層の熱中症予防・対策をおこなう必要があります。

## 部屋の温度を確認!!



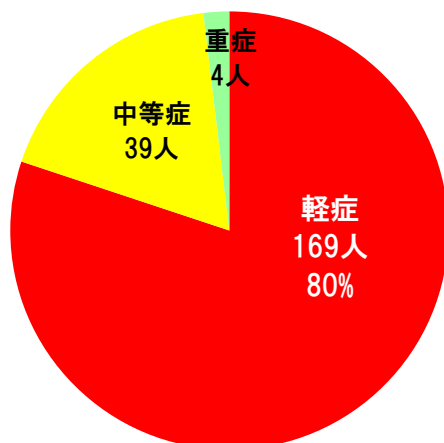
## 周囲の人にも気配りを



## 症度別

症度別では、軽症が169人で全体の救急搬送人員の約80%を占めています。次いで、入院の必要がある中等症が39人、重症が4人となっています。

症度別救急搬送状況（令和3年5月1日から9月30日）



## ポイント

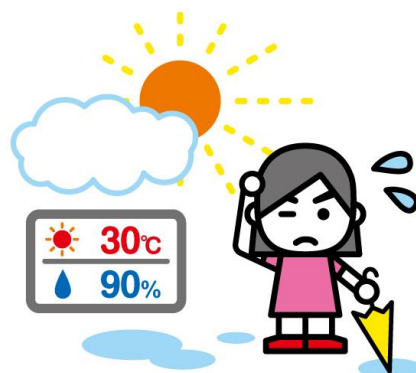
「熱中症かな？」と思うようなサインがあったときは、すぐに応急処置を行い、病院などの医療機関へ連れていきましょう。

救急車を待っているあいだにも、現場で応急処置をすることで症状の悪化を防ぐことができます。

## 応急処置のポイント

- ①涼しい場所へ移動しましょう
- ②衣服を脱がし、体を冷やして体温を下げましょう
- ③塩分や水分を補給しましょう

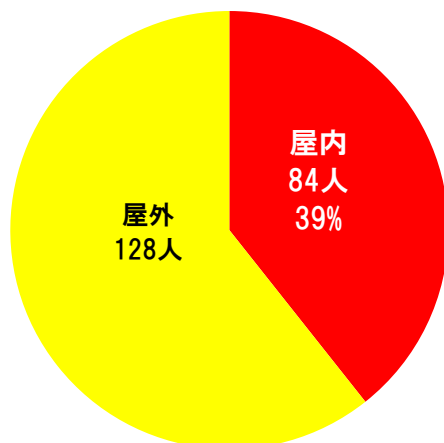
## 湿度が高いときは注意



## 発生場所別

発生場所別では、屋内が84人、屋外が128人となっています。

発生場所救急搬送状況（令和3年5月1日から9月30日）



### ポイント

住居、学校など屋内で危険な環境は、「熱気や湿気が溜まりやすく、暑い場所」で、エアコンのない閉め切った部屋や風呂場、洗面所などです。

また、熱中症になりやすいタイミングについては、水分が失われやすい入浴後、閉めきった暑い場所での作業が長時間続いた場合などが挙げられます。

### 予防ポイント

- ① 温度計で室温を管理し適度にエアコンや扇風機を使用しましょう
- ② 風通しをよくしましょう
- ③ 喉が渇いていなくても意識的に水分を補給しましょう

